

## 全市に整備約束——防災無線放送

### 質問

市民の皆さんからは「東海・東南海地震も豪雨もいつ来るかわからないので心配だ。万一の場合、市から連絡してくれるのだろうか」と心配の声が聞かれる。

最近の豪雨は、亜熱帯型と言われ、従来は1時間に30ミリを超えた場合は災害が起きると言われていたが、先日静岡の豪雨では3時間で170ミリと、すごいものだった。最近の豪雨は、一瞬の間に災害が起きていく。この地域でも過去に東海豪雨、愛西市でも目比川の決壊と大きな被害が

出た。地震では、東海・東南海・南海地震はいつ来るかわからない。

万一の災害の際、市民の命を守る事が最大の問題。

何よりも大事なことは、災害情報が、一刻も早く市民に伝わること。目比川の決壊で、佐織地区には防災無線ができたが、残りの地域への防災無線の整備は緊急の課題。

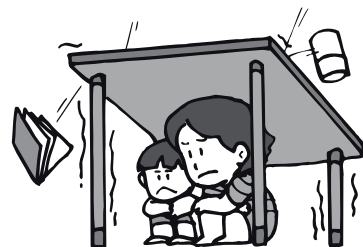
正面から情報伝達の重要性を認識し、緊急に対策を講じるべきではないか。

### 副市長

同報無線は、有効な手段だ



下村 一郎 議員



と考え、新しい統合庁舎の完成に向けて、それに間に合うように残りの3地区の同報無線を整備したい。

### 質問

次に災害対策本部についてお尋ねする。

水害や地震などの場合、一番大事なことは、災害対策本部が機能することである。市役所は耐震補強もせず、震度6以上で崩壊する。

### 副市長

市庁舎にアスベストの材料が使われていることがわかった。耐震補強と同時に工事をすると、仕事をしつつ改修工事はとてもできない。

## 地震を想定した災害対策本部を

### 質問

豪雨の場合は本庁舎でも良いかもしいないが、地震の場合は、使い物にならない。

地震対策を想定した災害対策本部の場所の決定は重要。直ちに検討するべきだ。

### 総務部長

県など関係機関との連絡とすることも考え進めていく。

### 質問

愛西市内で市民がよく集まったり利用したり、暮らしたりしている施設の耐震状況はどうなっているか。

### 総務部長

14の幼稚園・保育園のうち、13園の耐震診断は済んでいるが、1園は耐震診断すらされていない。

老人関係施設関係は、4施設中3施設はクリアしているが、1施設は診断を含め未実施。大型スーパーは全OK。農協・銀行・郵便局は昭和56年度以前の建物については、建てかえ計画がある。